

平成29年5月17日
宿毛漁業指導所

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類を死亡させる恐れのあるカレニア ミキモトイが最大で0.02細胞/ml確認されました。またゴニオラックス ポリグラマ及びプロロセントラム シグモイデスと呼ばれるプランクトンがそれぞれ最大0.21細胞/ml及び9.73細胞/ml確認されました。これらのプランクトンは基本的には魚介類には無害ですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、結果として魚介類を弱らせてしまう可能性がありますので、今後、海色や飼育魚の状態に注視してください。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大で3.07細胞/ml、ギムノディニウムカテナータムが0.58細胞/ml確認されました。

本日も、調査地点にてケイ藻類が多く確認されました。他県の観察結果によるとケイ藻類の増加が見られた後に、有害赤潮プランクトンの増殖が確認された例もありますので、引き続き注意してください。

今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	カレニア ミキモトイ	ゴニオラックス ポリグラマ	プロロセントラム シグモイデス	アレキサンドリウム 属	ギムノディニウム カテナータム
片島 採水時間 9:06 透明度 -m	2.0	20.0	34.0	6.5	0.02	0.21	9.73	0.7	0.27
藻津定点 (別図⑨) 採水時間 9:19 透明度 -m	4.0	19.7	34.4	7.1	0	0	0.15	0	0
宿毛湾中央 (別図⑤) 採水時間 9:35 透明度 -m	5.0	19.6	34.5	6.8	0	0.02	0	0.08	0
栄喜奥 (別図②) 採水時間 9:53 透明度 -m	0.0	20.2	24.4	7.6	0	0	0	3.07	0
青瀬山 (別図③) 採水時間 10:02 透明度 -m	8.0	19.6	34.5	6.2	0	0	0	0	0.58
ヒロウラ (別図①) 採水時間 10:17 透明度 -m	8.0	19.7	34.5	6.6	0	0	0	0.02	0.5
田ノ浦 (別図⑧) 採水時間 10:50 透明度 -m	0.0	19.9	29.2	6.7	0	0.01	0	0.04	0